

学クラ新聞

第17号



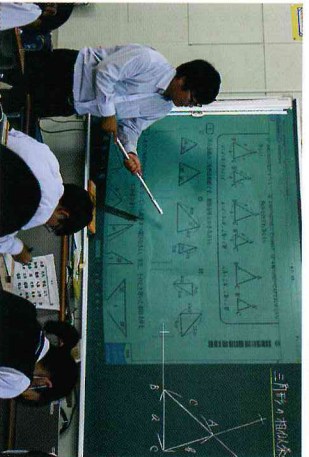
・授業の演習 ・ 放課後学習 ・ 家庭学習
主な活用シーン

大阪市立築港中学校では、「わかる喜び、できる楽しさを実感できる授業」を目指し、授業改善に取り組んでいます。その中で、『みんなの学習クラブ』を活用することで、一斉画一的な授業から脱却し、生徒が自学自習できる力の育成に取り組んでいます。授業での活用だけでなく、不登校の生徒や特別支援学級の生徒、さまざまな家庭環境の生徒に対して、学習機会の保証、学力向上のツールとしても活用しています。

すべての生徒に学習機会を保証する！

～ 大阪府 大阪市立築港中学校 ～

授業の演習プリントとして、iプリントを先生が配付します。iプリントの内容を解説する際は、先生が『みんなの学習クラブ』にアクセスしプロジェクターを使って問題を投影しています。

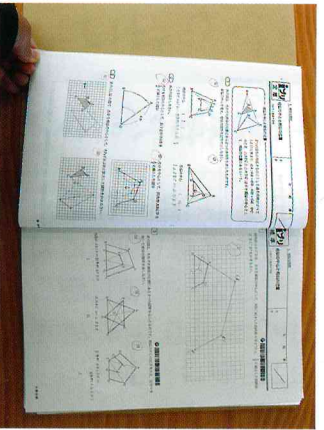


◆先生からもプリント配付

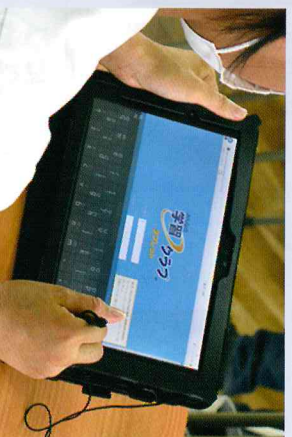
先生の活用／数学での授業の取り組み

数学ではiプリント・定着・標準を提出課題にしています。生徒は普段からiプリントのプリントをファイルに綴じておき、定期テスト後に提出します。テストにも類題を出題するなど、生徒が主体的に学ぶ仕組みをつくっています。

◆iプリント・定着・標準は提出課題



タブレットは学習室にあり、いつでも自由に活用することができます。



授業の始まる前に、タブレット端末を取りに行き、『みんなの学習クラブ』に個人IDでログインします。



生徒はタブレットであらかじめ、印刷したいプリントを選び、プリントのケーブルと接続して印刷します。

築港中学校では、ICT機器を効果的に活用した授業の工夫・改善に取り組むとともに、いつでも自由に使える環境を整えています。タブレットはおおよそ2人に1台あり、授業で活用する際は、クラスを単純2分割にし、少人数授業を行います。

いつでも自由に使えるタブレットとプリンター／紙に書いて学習